ふなで

［発行］　社会福祉法人　大阪福祉事業財団　「せんごくの里」　［発行責任者］　施設長　永田　美子
［住所］　〒597-0051　貝塚市王子1183-3　TEL（072）437-1075　FAX（072）437-1076
せんごくの里URL　http://www.sengoku-sato.com　白いくもURL　http://www.sengoku-sato.com/Cafe_01.html

「謹んで新春のお慶びを申し上げます」

新たな一年を迎えるにあたり、旧年中のご厚情に御礼申し上げます。

せんごくの里では開設当初から、貝塚こすもすの里と連携して地域とのつながりや、住民の方々の福祉要求を捉える事を大切にしてきました。8年を経た現在も、生活介護事業を利用しておられる皆さんは日々の仕事も頑張りつつ、散歩や配達・納品などの機会を作り、どんどん外に出かけ、地域の方々とふれあう場面を積み重ねています。

就労継続B型事業のカフェ&ベーカリー「白いくも」では気軽に来店し、地域のホットステーションとして快適に過ごしていただけるよう店舗運営に努力しています。そうした利用者の頑張りや事業運営を、ご家族の皆さんには、影になり日向になり見守り、応援し、支えていただいています。また、11月の第3日曜日に開催している「貝塚ひびきあいまつり」も第7回を成功裏に終える事ができ、地域の方々には、バザーや舞台出演・模擬店などに楽しんで参加して下さり、要員・ボランティアとしてのお手伝いも頂き感謝に耐えません。

また、貝塚市の障害（児）者施設連絡会では施設間の情報交換を行い、会として貝塚市の委託事業やイベント参加等の窓口となり、各施設の日中活動や支援の質の向上、工賃保障にも繋がる取り組みを連携して行なっています。

このように地域の中で様々に繋がりあい、誰もが笑顔で自分らしい時間を過ごし、「此処がええなぁ」と思えるよう、ひとり一人の人生を大切に支えていきたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

施設長　永田　美子

厨房の助っ人！！

11時半。彼らはやってくる・・。

目深に被った帽子とマスク。鋭い瞳で洗い場に立つ。次々と重ねられる汚れた食器たちを黙々と洗い、間に入る配膳指示にも決して慌てない。

振り返り、盛付を見る余裕すらある。

皆の昼食が終わる頃、時計の針を見てエプロンを外す。

「お疲れ様でした。休憩入ります！」

そして、元気よく彼らは去ってゆく。

調理職員　川瀬　直美

※『ふなで24号』で紹介させて頂きました、水間観音駅「まち愛カフェ」は、11月末を持ちまして終了となりました。ご愛顧ありがとうございました。

カフェ&ベーカリー 白いくも

白いくもNEWロゴ

福祉情勢コラム

12月13日（木）、広島高裁岡山支部で一つの判決が言い渡されました。約6年間に及ぶ「浅田訴訟」の原告全面勝訴の判決です。障害者の「65歳問題」として他法優先原則の取り扱いや65歳になると障害者でなくなる制度の問題点を糾弾する戦いとして注目されていました。

一審判決を不服として岡山市が控訴していましたが、17日の市議会運営委員会で「明日の市議会本会議で高裁判決を受け入れ上告しない」旨を表明するとしました。これにより判決が確定したわけです。

判決では、自立支援法7条（他の法令による給付等との調整）は二重給付を回避するための規定であり、介護保険を申請しない場合に7条に基づき不支給決定をすることとは羈束処分とはいえず裁量処分と解することが相当、としています。

他法優先原則論に対して警鐘を鳴らした判決で、制度運用の見直し論拠となります。この判決が65歳問題に大きな光明を見出す意義あるものであることを願います。

副施設長　寺田　恒

厨房ですよ

「世界グルメ紀行Ⅱ」～ロシア編～

私、先日ロシアのウラジオストクに行ってきました。極東なのでまだ穏やかな気候で過ごしやすく、町並みもとっても綺麗でした。食事に関しては勝手に質素なイメージをもっていましたが、全体的に癖がなく、食べやすくておいしかったです。有名なピロシキやサーモンステーキも美味しかったです。

せんごくの里では「ボルシチ」と「ビーフストロガノフ」にチャレンジ！

ボルシチは世界三大スープの一つで、ビーツという赤い野菜を使ったあっさりとした優しいトマト味のスープです。

ビーフストロガノフは牛肉と玉ねぎをサワークリームのソースで煮込んだ料理で、現地ではご飯ではなくマッシュポテトにかかっていて濃厚でした。

それぞれ手に入る身近な材料でアレンジしましたが、特にビーフストロガノフは、「マイルドで美味しい～」と好評でした♪

管理栄養士　山野　みちる

手芸ボランティア募集

いつもせんごくの里にご協力頂きありがとうございます。

いきいき班の自主製品は、注文を多く頂いており嬉しい限りです。そのため商品製作が追いつかない事もあり、今回ボランティアを募集させて頂きたいと思います。

内容は縫い物に関してになります。利用者さんが縫いにくい箇所を一部縫製、または裁断等の下準備を行って下さる方を募集しています。どうぞよろしくお願い致します。

担当　永松

後援会会員募集中

応援団になって頂ける方々を募集しています。

担当　永松・南條

福祉のひろば

定期購読オススメです

担当　川瀬・山野

クリスマス会

飾りつけやケーキのトッピング、練習など利用者がワクワクしながら、楽しく取り組んでいました。
食事もバイキングとピザ、そしてケーキを美味しく頂きました。
皆、笑顔で過ごせてよかったと思います。

担当　辰巳　美和

第７回　貝塚ひびきあいまつり　開催！！

11月18日に貝塚ひびきあいまつりが開催されました。
今年は天気にも恵まれて、沢山の来場者があり、利用者さんが頑張って作った自主製品や、白いくものパン、そして、せんごくの里調理員の手作り肉まん等、沢山売れて大忙しでした。
中央舞台では、今年も貝塚市のイメージキャラクター〈つげさん〉が駆け付けてくれて、つげサンバを披露してくれています。
せんごくの里と貝塚こすもすの里の合同よさこいも、練習の甲斐あって元気一杯大成功でした。その後の歌声サークルも、利用者さんのピアノ演奏で「船出」を合唱したり、この日の為に練習してきた「踊るポンポコリン」を振り付けと一緒に唄っています。
舞台出演の後、好きな食べ物やバザー物品を買ったりと、皆まつりを満喫していました。

担当　南條裕介

歌声サークル「ひかり」

歌声サークル『ひかり』では、ひびきあいまつりの時期が近づくと舞台発表を楽しみに、練習に励みます。
今年はせんごくん里のテーマ曲「船出」と「踊るポンポコリン」に決定。今回はペットボトルにビーズを入れて楽器を作りました。
当日はみんな元気いっぱい、楽しく歌って踊ることができました。来年はどんな舞台にしよう？楽しみにしています。

担当　曽我部　真由子

よさこいサークル「和」

よさこいサークル『和』は、毎週水曜日に練習しています。少ない練習時間でしたがこすもすの里の方とも一緒に練習をして、みんなで力を合わせて頑張って来ました。当日のひびきあいまつりでは「明日があるさ」と「花まつり」を踊りました。太鼓を鳴らしたりしてみんなで一致団結して笑顔で楽しく元気に参加することができました。

担当　新田　愛莉

音楽療法 VOL.20

「心の扉をノック」

Aさんは「すっく」が会場になる前のミュージック・ケア（以下M・C）では、部屋には入らず廊下の端の辺りに座っていました。何年かその状態が続き、ある時セッションの様子が見える場所に座っていました。数か月続き「あ！（部屋の）椅子に座ってる！」という日がありました。でも、セッションが始まると廊下から見ていました。
すっくが会場になってAさんに大きな変化がありました。私が「Aさん、今日は見えないなぁ。お休みかなぁ」と呟くと、傍にいた職員さんが「先生、Aさん座ってますよ」と。「え！？」と見渡すと、ごく自然に会場の椅子に座っていました。手拍子が一緒にできた時、心が通じ合ったような幸せな気持ちになりました。Aさんの表情に注意しながら音楽のフレーズに合わせて近づくと緊張した面持ちになりました。
「そうか！この距離が大切だったんだ！」以前の部屋はお互いが近すぎてしんどかったのかも、と思いました。
せんごくの里で皆がくっつき合って行ったM・Cは、狭さを感じる以上に楽しい時間でした。Aさんはその様子を見ていたから広い会場に変わった時、輪に入ることができたのかもしれません。皆さんがいきいきと活動している様子そのものが、Aさんの心の扉をノックしていたのですね。

日本ミュージック・ケア協会
認定指導者　浦川暁美